

甲斐市議会決算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 令和2年9月2日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（19名）

委員長	有泉庸一郎君	副委員長	清水和弘君
	伊藤毅君		加藤敬徳君
	谷口和男君		秋山照雄君
	金丸幸司君		滝川美幸君
	五味武彦君		金丸寛君
	赤澤厚君		小澤重則君
	松井豊君		斉藤芳夫君
	山本英俊君		内藤久歳君
	藤原正夫君		小浦宗光君
	保坂芳子君		

欠席委員（1名）

横山洋介君

傍聴議員（2名）

議長	清水正二君	監査	長谷部集君
----	-------	----	-------

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	土屋達巳	書記	森田公
書記	長田大地	書記	中込美智子

審査内容

1 委員長の互選

2 副委員長の互選

開会 午前11時07分

○書記（森田 公君） ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、先ほど議長より招集がありましたとおり、正副委員長の互選となります。
また、臨時の委員長におきましては、委員会条例により、出席委員のうち年長であります小浦委員にお願いしたいと思っております。

それでは、小浦委員、よろしくお願いいたします。

○仮委員長（小浦宗光君） それでは、始めさせていただきます。

本日の委員会は、決算審査特別委員会設置後の初めての委員会でございますので、委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が決まるまでの間、年長の私が委員長の職務を行います。どうぞよろしくご協力のほど、お願いいたします。

ただいまの出席委員は20名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

○仮委員長（小浦宗光君） これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。委員長の互選については、会議規則第126条第5項の規定により指名推選によりたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（小浦宗光君） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

それでは、いかがいたしましょうか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 有泉委員を推薦いたします。

○仮委員長（小浦宗光君） ただいま保坂委員から、有泉委員の推薦がありましたが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（小浦宗光君） ご異議なしと認めます。

それでは、委員長を指名いたします。

決算審査特別委員会委員長には、有泉委員を指名いたします。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（小浦宗光君） ご異議なしと認めます。

よって、決算審査特別委員会委員長には有泉委員が当選されました。

ただいま当選されました有泉委員長より就任の挨拶がございます。

ここで、委員長と交代いたします。

○委員長（有泉庸一郎君） ただいま、委員の皆様より委員長の指名推選をいただきました有泉でございます。

微力ではありますが、円滑な委員会運営に努めてまいり所存でありますので、どうかご協力のほどよろしく願いいたします。（拍手）

引き続き、副委員長の互選を行いたいと思います。

副委員長の互選も委員長と同様、会議規則第126条第5項の規定により指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） ご異議なしと認めます。

したがって、副委員長の互選は、指名推選によることに決定いたしました。

ここでお諮りいたします。副委員長の指名方法は、委員長において指名することにしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） ご異議なしと認めます。

よって、副委員長の指名方法は、委員長において指名することに決定いたしました。

それでは、副委員長を指名いたします。

副委員長には、清水和弘委員を指名いたします。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） ご異議なしと認め、副委員長には清水和弘委員が当選されました。

ただいま当選なされました清水和弘副委員長より就任の挨拶がございます。よろしく願いします。

清水委員。

○副委員長（清水和弘君） このたび、委員長からの指名推選により副委員長の指名推選をいただきました清水でございます。

委員長を支え、議事を進めてまいりたいと思いますので、委員の皆様のご協力をお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。（拍手）

○委員長（有泉庸一郎君） 副委員長のご活躍をご期待申し上げます。

次に、審査日程について事務局の説明を求めます。

森田係長。

○書記（森田 公君） それでは、初めに、資料の確認をお願いいたします。

お手元に、審査日程（案）1枚、審査日程（予定）1部、令和3年度当初予算への要望書2枚、委員座席表1枚のほうを配付させていただいておりますので、ご確認をよろしく願いいたします。

それでは、審査日程（案）、横判の物になりますが、そちらを参考にご説明させていただきます。

決算審査は、明日9月3日から9日までの5日間で行います。いずれも午前9時30分開会であります。明日3日木曜日は一般会計の歳出、企画政策部長の概要説明から敷島・双葉支所までとなります。4日金曜日につきましては秘書政策課から健康増進課まで、週が明けまして7日月曜日は環境課から教育総務課まで、8日火曜日につきましては学校教育課から歳入までとなります。翌9日水曜日につきましては特別会計等の審査となります。なお、10日木曜日は委員会予備日となります。

以上の日程となります。

なお、明日からは、お手元の審査日程（予定）により審査を行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

説明は以上であります。

○委員長（有泉庸一郎君） 今、説明していただきました。

委員より質疑、ご意見がありましたら、お願いいたします。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） なければ、質疑を終了します。

それでは、この日程により行うことに決定してよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） それでは、そのように決定いたします。

以上で審査日程について終わります。

次に、本委員会への付託事項の令和3年度当初予算への要望に関することについては、各常任委員会及び特別委員会において所管する事業に対する要望を取りまとめていただき、本委員長名で市当局に提出したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） それでは、そのように進めます。

それでは、お手元にお配りした別紙の要望書により、所管する常任委員会及び特別委員会の事業で、最重点の事業を1人、1委員会につき1事業を提案することにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） それでは、そのように決定いたします。

要望書の提出期限については、9月25日金曜日正午までに事務局へ提出をお願いしたいと思います。

また、提出後、各委員会を開催し、内容を精査していただき、最終的には決算審査特別委員会で取りまとめ、市長へ提出していきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（有泉庸一郎君） それでは、以上で、令和3年度当初予算への要望に関することについて終わります。

以上をもちまして、決算審査特別委員会を閉会させていただきます。

ご苦労さまでした。

閉会 午前11時17分